

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 5日

住 所 埼玉県さいたま市浦和区常盤7丁目1-1 大黒屋オフィスビル4F

県内企業等の名称 株式会社セレスポ さいたま支店

代表者役職氏名 さいたま支店長 志賀 幹彦

(令和6年4月1日 変更)

株式会社セレスポ さいたま支店

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

以下、当社のサステナビリティ方針に基づき行動し、SDGsの達成に貢献していきます。
『持続可能な社会の実現が人類共通の最重要課題であることを認識し、すべての企業活動において、社員一人ひとりがステークホルダーとの信頼関係に基づく互恵関係を大切に、責任ある行動を行います。特に業務の中核を成すイベント制作に対しては「ISO20121:イベントにおける持続可能性に関するマネジメントシステム」を順守いたします。社会的・環境的・経済的にネガティブな影響を最小化し、ポジティブな影響を拡大することで、イベントに関するサステナビリティの分野において、リーダーシップを発揮していくことを確約します』

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、ペーパーレス化や電力使用量の削減の実施を進める。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①コピー用紙使用枚数:214,500枚/年 ②使用電力量:23,578kwh/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 ①25%削減 ②15%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 ①15%削減 ②10%削減
社会	社会貢献活動の一環として、フードドライブとフードドライブのボランティア活動を実施する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①フードドライブ実施回数:0回/年 ②ボランティア活動回数:0回/年・0人参加	＜2030年に向けた指標＞ ①5回/年 ②24回/年・48人参加 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①2回/年 ②12回/年・24人参加
経済	イベントサステナビリティ提案件数を増加させる。 ＜(現状値)2022年の数値＞ イベントサステナビリティ提案件数:10件/年	＜2030年に向けた指標＞ 50件 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 30件

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。